

周術期人工膵臓療法による感染性合併症抑制効果に関する研究

1. 研究の対象

2023 年 6 月から 2024 年 5 月に当院で肝切除の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

当院では肝胆膵領域の手術において、手術当日～翌日に人工膵臓という装置を用いて血糖管理を行っております。人工膵臓を用いることで血糖値の上下をなるべく減らし、かつ低血糖を起こしにくい、安全かつ厳密な管理が可能となっています。外科手術においては、手術侵襲そのものによって術後血糖値が高くなりやすくなります。さらに肝切除術では術中出血を減らすための手技が高血糖をもたらすことが知られており、血糖値の変動はさらに大きくなります。一方で、周術期の血糖変動を抑えることが術後の感染症予防につながる可能性が報告されております。

そこで、周術期人工膵臓療法の感染性合併症予防に対する有効性を評価することを目的とし、後方視的に診療録から血液検査所見や術後経過等の情報を収集して本研究を行います。人工膵臓を使用した方と、機器の都合等で人工膵臓を使用せず、通常の血糖管理を行った方を比較検討します。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2026 年 6 月 10 日

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、糖尿病の有無、血液検査データ、人工膵臓装置の記録（血糖値、必要としたインスリン量等）、術後合併症、術後入院期間、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

電話 088-880-2370

高知大学医学部附属病院 外科（消化器外科） 藤澤 和音（研究責任者）